

立駐工発 第418号

令和7年3月24日

会員各位

公益社団法人 立体駐車場工業会
会長 中野 恭介



機械式駐車場の設置や保守点検に関する安全性確保に向けた取り組みの推進について（要請）

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当工業会の事業運営につきまして、格段のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2月25日開催の「第6回 機械式駐車場の安全性確保推進連絡会」でも述べましたが当業界の安全成績は、昨年末からこれまでに保守点検作業現場および新設工事現場で4件もの死亡災害を発生させる危機的な状況にあります。

- 令和6（2024）年12月27日（金） 兵庫県神戸市 保守点検作業
エレベータ方式の昇降搬送装置が落下したことにより保守員1名が死亡、1名が重傷
- 令和7（2025）年1月6日（月） 東京都港区 新設工事
水平循環方式の高所から作業者が転落したことにより死亡
- 令和7（2025）年2月9日（日） 広島県福山市 保守点検作業
エレベータ方式のカウンタウェイトに保守員が巻き込まれたことにより死亡
- 令和7（2025）年2月14日（金） 埼玉県さいたま市 保守点検作業
多段方式（昇降横行ピット式）の搬器と基礎部との間に保守員が挟まれたことにより死亡

この状況を受け「第6回 機械式駐車場の安全性確保推進連絡会」では、国土交通省 都市局 街路交通施設課からも安全啓発に努めるなど、作業者の安全確保に向けた取り組みを強化するよう指導されており、当工業会としてはこの惨憺たる状況を真摯に反省し、改めて事故の原因を「機械式駐車場工事安全基準 同解説書」「機械式駐車場保守点検作業安全基準 同解説書」に照らし合わせながら分析し、皆様と共に労働災害撲滅に向けた取り組みを進めていかなければならないと考えています。

会員各社におかれましては、安全法令は基より、改めて工事や保守点検作業が各安全基準に準拠しているかをご確認いただくと共に、KY活動時のリスク洗い出しと適切な対策の実施、また定期的な安全パトロールによる現地確認と指導、教育を徹底していただくなど、労働災害の根絶に向けた作業者の安全確保と事故の未然防止に努めてください。

以上